

渡辺喜恵子 人と作品

大正2年(1913年)、秋田県仙北郡檜木内村(現仙北市)で栗生沢米太郎の次女として生まれる。2歳の時父が鷹巣町に木材工場(後の丸米木材株)を創業し転居する。昭和6年、秋田県立能代高等女学校(後の能代北高校、現能代松陽高校)を卒業し上京、「明日」「三田文学」同人となり文学活動を行った。



長編「馬淵川」、鷹巣での少女時代の記憶を詩情豊かに描いた「みちのく子供風土記」に見られるように、郷土への愛着もことさら深かった。

秋田魁新報社が昭和59年に創設した「さきがけ文学賞」も同氏の寄付が基金の一部となって運営されており、新人の登竜門となっている。

昭和10年、渡辺茂と結婚のため広島へ転地する。昭和14年、25歳の時に夫が病気で死去、昭和19年に母の故郷岩手県石切所村(現二戸市)へ疎開、「馬淵川」の執筆にかかる。

その後再上京、昭和24年に木下利秀と再婚、昭和34年「馬淵川」で第41回直木賞を受賞した。平成9年(1997年)、83歳で没。

数多くの著作があるが、波乱の生涯を送った女性を主人公とした作品が多く、女の哀歓と時代の荒波の中を力強く生き抜く姿を描いた。

【主な著作】()は出版年

「いのちのあとさき」(S17)／「末の松山」(S23)／「馬淵川」(S34)／「地藏流し」(S35)／「白と紫」(S35)／「黝い血」(S42)／みちのく子供風土記(S44)／「海の幸」(S46)／「原生花園」(S47)／「プルメリアの木陰に」(S49)／「南部女人抄」(S50)／「タンタラスの虹」(S50)／「夜明けの河」(S54)／「啄木の妻」(S55)／「万灯火」(S61)／「南部九戸落城」(H元)

展示内容と記念イベント

渡辺喜恵子回顧展 北秋田市文化会館展示室

会期 2020/10/11(日)～11/8(日)
時間 9:00～19:00(土日祭は17:00まで)
休館日 毎週水曜日(10/14は開館)

【主な展示物】

幼少時～晩年の写真／直木賞正賞の時計／出版された主な作品(書籍)／書簡と直筆原稿／映画(未完)・舞台「みちのく子供風土記」写真／直木賞受賞作『馬淵川』カバー原画ほか約130点

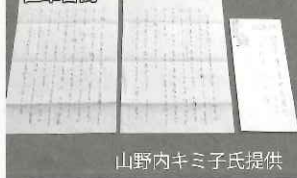
※美術工芸家・神成澤作品展も併催(特別展示室)

舞台「みちのく子供風土記」より



撮影：宮野明義氏

直筆書簡



山野内キミ子氏提供

記念イベント① みちのく子供風土記館(文化会館敷地内)

期日 2020/10/18(日) 13:00～15:00
内容 「渡辺作品についての講演と朗読」
講師 北条 常久氏(講演)

文学博士／秋田県生涯学習センターシニアコーディネーター／あきた文学資料館名誉館長

安倍 眞寿美氏(朗読)

声のグループ「ひいらぎの会」主宰／NPO 日本朗読文化協会会員

※聴講希望の方は事前にお申し込みください(0186-62-3311 北秋田市文化会館)

記念イベント② みちのく子供風土記館(文化会館敷地内)

期日 2020/11/8(日) 13:00～15:00

内容 「渡辺作品朗読会」

読み手 市民、愛読者など

朗読作品 『馬淵川』『みちのく子供風土記』『海の幸』ほか

(お願い) コロナウィルス感染拡大防止のため、回顧展、記念イベントとも、入場の際はマスク着用・手指消毒をお願いします。